

全日本クラブ野球県大会

(13日、新卒球場)

準決勝、決勝が行われ、

静岡硬式野球倶楽部が2年

連続6度

目の優

勝。全国

大会(8

月11・13

日、長野

オリンピ

ックスタ

ジアム)

出場を決

めた。

# 3試合すべてコールド勝ち 静岡倶楽部「文句なし」連覇



2年連続の優勝を果たした静岡硬式野球倶楽部は杉山監督を胴上げ

▽決勝
遠州トラック野球クラブ
000 1010
300 006 X
静岡硬式野球倶楽部
(7回コールド)
(選) 内海+加藤
(静) 松浦前次+金田一栗城
▽二塁打+遠藤(選) 小長谷
順+実石2(静)

## 選手不足も何の

9日の1回戦から3試合すべてコールド勝ち。静岡硬式野球倶楽部が圧倒的な力を見せつけた。中でもMVPを獲得した

実石琢也(26)は静岡学園高出陣は投げてよし、打ってよしと大暴れ。1回戦の三島ク戦では、先発投手で4回を無安打に封じたかと思えば、この日は打者で、2試合7打数5安打。決勝の遠州トラック戦では、コールドを決める6回の右越え2点二塁打など2二塁打と火を噴いた。

## MVP実石「全国で1勝を」

かと言えは打つ方が好きなんです。た時は打たせてもらえないですから」と笑顔。雨の影響で平日開催になったことで選手が足りず、野手が出場してこの活躍だから、受賞は文句なしだ。

静岡倶楽部にはつきもあった。六回表に、遠州トラックに1点差に迫られなお1死一、二塁。次打者の当たりは二直併殺。杉山克巳監督(33)は

「ここで相手の流れを止めたいことが、その裏の攻撃へどつながったんだ」と振り返った。昨年の全国大会は1回戦のオール足利(栃木戦)で、実石は先発して負け投手。今年こそは全国1勝を」と燃えていた。

(白柳 厚)

▽最優秀選手＝実石琢也(静岡)▽敢闘賞＝中嶋進(遠州)▽最高打撃賞＝実石琢也(7打数5安打、7割1分4厘)

▽準決勝 富十クラブ 500 000 000 000 301 020 20X 8

遠州トラック野球クラブ (選) 佐野重一+曾秀 (選) 中嶋+加藤 (監督) 根田 (選) 加藤 (選) 三

内海+染葉 (選) 二塁打+遠藤 二塁打+遠藤 二塁打+遠藤 二塁打+遠藤

100 100 0 2 216 000 X 9

静岡硬式野球倶楽部 (7回コールド) (選) 曾月幸+曾月俊+浜崎 (静) 前沢+石川+栗城 (選) 三塁打+石垣(静) 二塁打+赤堀+大村(選) 長島+実石2(静)

☆紙面編集 竹崎 亮

## 全日本クラブ野球 組み合わせ決まる

来月11日開幕

第25回全日本クラブ野球選手権大会(日本野球連盟、毎日新聞社、長野県教委主催)の組み合わせが17日、決まった。各地区の予選を勝ち抜いた14チームが参加して8月11日から3日間、長野オリンピックスタジアムをメイン会場に開かれる。初出場は新庄球友クラブ(山形)とオールフェデックス(長野)の2チームで、最多出場は21回目の全足利クラブ(栃木)。

### ◇第25回全日本クラブ野球選手権大会組み合わせ◇

